

農業



平成24年10月号
会誌 No. 1564

目次

巻頭言

団体の消長と大日本農会の活動……………吉田 岳志 3

論 壇

肩の力を抜いて中国と向き合おう……………田中 耕司 4

農業懇話会

農医連携論……………陽 捷行 6

－環境を基とした農と医の連携－

境界で繋がっている

農医連携の重要性

北里大学の取組

代替医療・代替農学

地球生命圏の最も怖い復讐

質疑応答…………… 19

研究の最前線

福島県農業総合センター果樹研究所における放射性物質対策に関する研究
の取組……………勝又 治男 22

研究方針

昨年度の研究内容

今後の取組

福島県農業総合センター畜産研究所における放射性物質対策に関する研究

の取組……………遠藤 孝悦 28

原子力発電所事故に関する対応経過
放射性物質の除去・低減・吸収抑制試験の概要

表彰農家訪問

林間畑わさび作経営の確立と産地育成に貢献……………村上 治正 37
－岩手県岩泉町に馬川竹夫さんを訪ねて－

農業・農村の現場から

阪神・淡路大震災後もネギ屋さんとの深い絆で続ける西宮のネギ栽培
……………古塚 秀夫 47

世界の農業は今

タイの忘れられた資源・サゴヤシの有効利用……………木村健一郎 52

統計情報

平成24年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄状況…………… 57

農政情報…………… 58

大日本農会だより…………… 59

編集部から…………… 60

ミニ情報「食品中の放射性物質の新たな基準値」…………… 36

表紙写真説明

千枚田の景 (香川県小豆郡小豆島町中山)

香川県小豆郡小豆島町中山にある千枚田の風景である。小豆島町は瀬戸内海に浮かぶ小豆島の東から南に位置する平成18年3月に池田町と内海町うちのみちようが合併した新しい町である。小豆島町は、日本におけるオリーブ発祥の地として、また、壺井栄の小説を基にした映画「二十四の瞳」の舞台となった。この中山地区の「中山千枚田」は、日本の名水百選に選ばれた湯船の名水を水源に、標高150～250mの急峻な山腹に8.8ha、733枚の大小さまざまな棚田が波形模様に広がっており、南北朝時代の「湯舟山縁起」に水の記述があることから、南北朝（約700年前）から江戸時代にかけて作られたものとされている。農林水産省の「日本の棚田百選」に指定されている。この地区には18世紀頃に始まり、現在も伝承されてきている農村歌舞伎舞台（国の有形民俗文化財）ある。

小豆島町のオリーブの栽培面積は、一時は衰退したものの現在では100haまで回復してきた。その他の農産物は、スモモ（レットスター）や晩夏から初秋にかけての電照菊の産地として知られている。
(写真提供：(社)地域環境資源センター)